

川越市外国にルーツを持つ児童・生徒
保護者の意識調査

報 告 書

川 越 市

目次

第1章 調査概要.....	1
第2章 調査結果.....	3
(1) 居住地区.....	3
(2) 国籍・地域.....	4
(3) 日本語能力.....	5
(4) 子どもの教育について困っていることや心配していること.....	7
(5) 子どもの教育のことで困ったときの相談先.....	9
(6) 中学校卒業後の進路についての考え.....	10
(7) 市の情報の入手手段.....	11
(8) 行政サービスの認知度.....	12
(9) 地域に必要な場所.....	13
(10) 子どもの日本在住歴.....	15
(11) 子どもの日本語能力.....	16
(12) 子どもの日本語勉強方法.....	19
(13) 子どもが学校以外の日本語教室に行ける曜日・時間.....	20
(14) 子どもが困っていること.....	21
(15) 子どもにとって必要な場所.....	23
【資料】 調査票.....	25

第1章 調査概要

1. 調査の目的

市立の小・中学校に通う児童・生徒の保護者に対し、子どもの日本語や授業の理解度、要望等を調査し、今後の学習支援を行うとともに、次期川越市国際化基本計画策定のための基礎資料として活用する。

2. 調査の設計

項目	内容										
調査期間	令和6年9月9日(月)～10月7日(月)										
調査対象	市立の小・中学校に通う外国籍児童・生徒の全保護者										
標本数	307人										
調査方法	郵送による配布、回収(自記式) ※ 調査票は、日本語版調査票(ルビ付・やさしい日本語)と外国語版調査票(言語別)を作成し、調査対象者別に以下のとおり配布した。 <table border="1"><thead><tr><th>国籍・出身地</th><th>調査票種別</th></tr></thead><tbody><tr><td>中国</td><td>日本語版調査票 外国語版調査票(中国語)</td></tr><tr><td>ベトナム</td><td>日本語版調査票 外国語版調査票(ベトナム語)</td></tr><tr><td>ネパール</td><td>日本語版調査票 外国語版調査票(ネパール語)</td></tr><tr><td>その他</td><td>日本語版調査票 外国語版調査票(英語)</td></tr></tbody></table>	国籍・出身地	調査票種別	中国	日本語版調査票 外国語版調査票(中国語)	ベトナム	日本語版調査票 外国語版調査票(ベトナム語)	ネパール	日本語版調査票 外国語版調査票(ネパール語)	その他	日本語版調査票 外国語版調査票(英語)
国籍・出身地	調査票種別										
中国	日本語版調査票 外国語版調査票(中国語)										
ベトナム	日本語版調査票 外国語版調査票(ベトナム語)										
ネパール	日本語版調査票 外国語版調査票(ネパール語)										
その他	日本語版調査票 外国語版調査票(英語)										

3. 回収結果

発送数	回収数	有効回収率
307件	93件	30.3%

※ 回答言語別の内訳：

やさしい日本語 48件(51.6%)、英語 10件(10.8%)、中国語 24件(25.8%)、ベトナム語 6件(6.5%)、ネパール語 5件(5.4%)

4. 調査内容

- (1) 居住地区
- (2) 国籍・地域
- (3) 日本語能力
- (4) 子どもの教育について困っていることや心配していること
- (5) 子どもの教育のことで困ったときの相談先
- (6) 中学校卒業後の進路についての考え
- (7) 市の情報の入手手段
- (8) 行政サービスの認知度
- (9) 地域に必要な場所
- (10) 子どもの日本在住歴
- (11) 子どもの日本語能力
- (12) 子どもの日本語勉強方法
- (13) 子どもが学校以外の日本語教室に行ける曜日・時間
- (14) 子どもが困っていること
- (15) 子どもにとって必要な場所

5. 調査結果の見方

- ① 図表中の“n”とは、各設問の回答者数をいう。
- ② 回答の比率(%)はnを基数として算出し、小数点以下第2位を四捨五入して、小数点以下第1位まで記載している。したがって、合計が100%にならない場合がある。
- ③ 性別、年齢別等の基本属性の設問に無回答である対象者がいるため、各基本属性の回答者数の合計が全体の回答者数と一致していない場合がある。
- ④ 回答者数が30に満たないものについては、比率が上下しやすいため、図示するにとどめ、本文中では触れていない場合がある。
- ⑤ 本文、表、グラフは表記の都合上、選択肢の文言を一部簡略化している場合がある。
- ⑥ 統計数値を考察するにあたっての割合表現について、おおむね以下のとおりとしている。

統計数値の「1の位」と「小数第1位」	割合表現
0.0～0.4% 9.5～9.9%	○割
0.5～0.9% 9.0～9.4%	約○割
1.0～3.9%	○割を超え
4.0～6.4%	○割半ば
6.5～8.9%	○割近く

※表の見方… (49.5%) = 5割、(60.9%) = 約6割、(36.5%) = 4割近く

第2章 調査結果

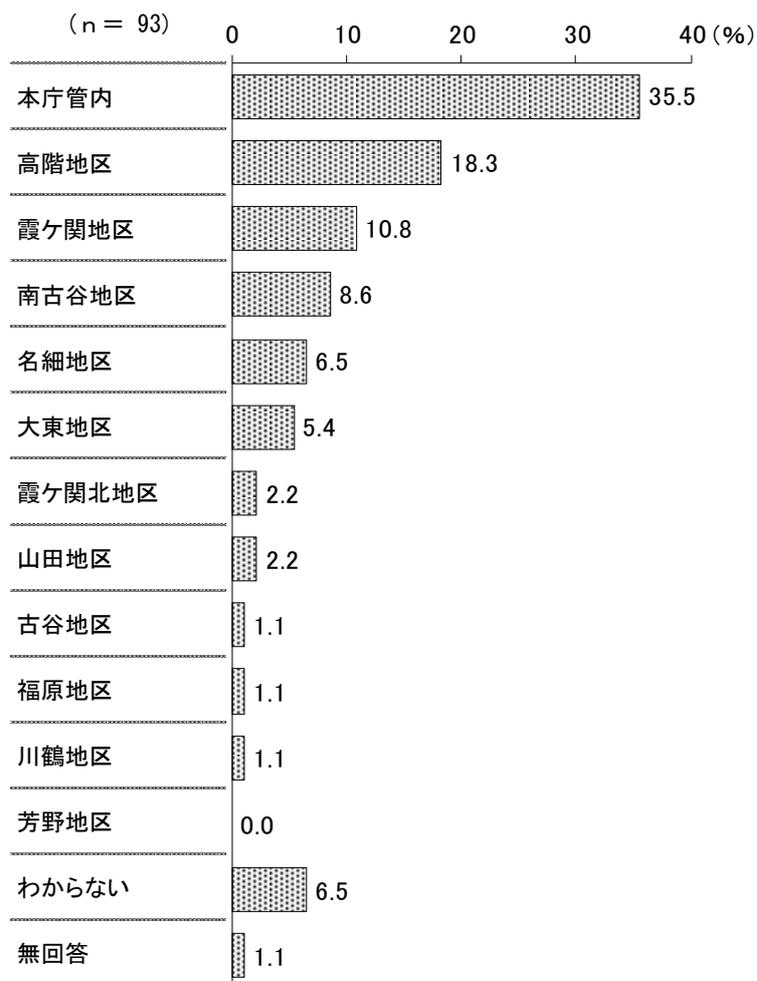
(1) 居住地区

Q1. あなたが住んでいる地区はどこですか。(○は1つ)

▶ ポイント 「本庁管内」が3割半ばと突出して高い

居住地区について聞いたところ、「本庁管内」(35.5%)が3割半ばで最も高く、次いで「高階地区」(18.3%)、「霞ヶ関地区」(10.8%)、「南古谷地区」(8.6%)、「名細地区」(6.5%)などの順になっている。(図表1-1)

図表1-1



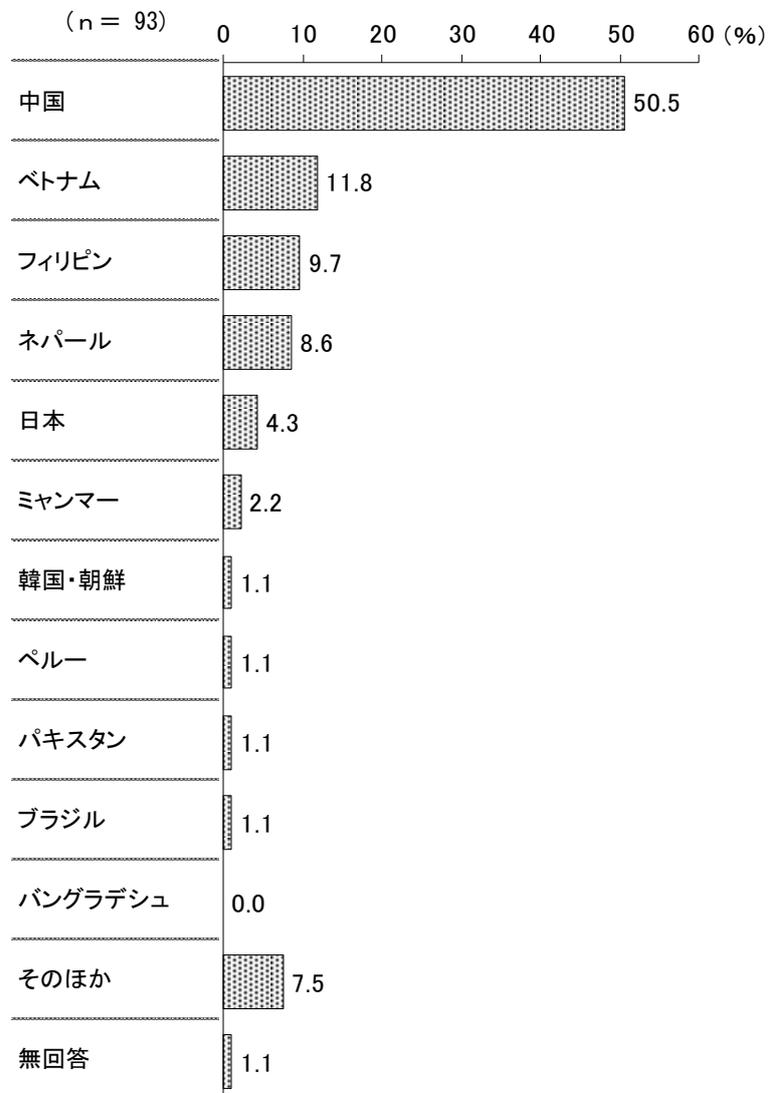
(2) 国籍・地域

Q2. あなたの国籍・地域はどこですか。(○は1つ)

▶ ポイント 「中国」が約5割と突出して高い

国籍・地域について聞いたところ、「中国」(50.5%)が約5割で最も高く、次いで「ベトナム」(11.8%)、「フィリピン」(9.7%)、「ネパール」(8.6%)、「日本」(4.3%)などの順になっている。(図表2-1)

図表2-1



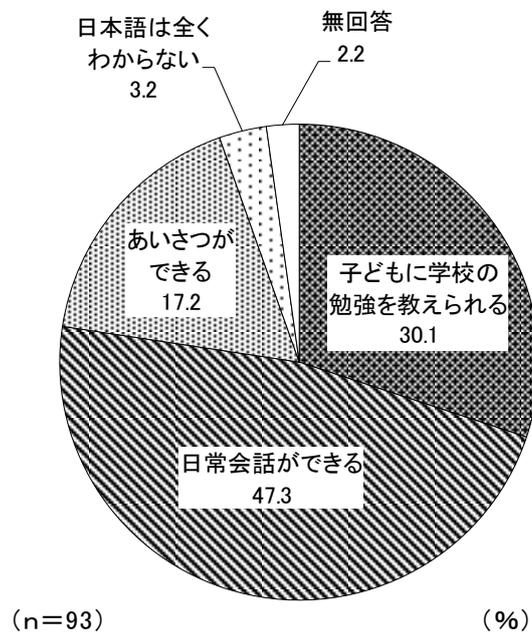
(3) 日本語能力

Q3. あなたは、どのくらい日本語ができますか。(○は1つ)

▶ ポイント 「日常会話ができる」が半数近くを占める

日本語能力について聞いたところ、「子どもに学校の勉強を教えられる」(30.1%)が3割、「日常会話ができる」(47.3%)は5割近く、「あいさつができる」(17.2%)は2割近くとなっている。一方、「日本語は全くわからない」はわずか3.2%となっている。(図表3-1)

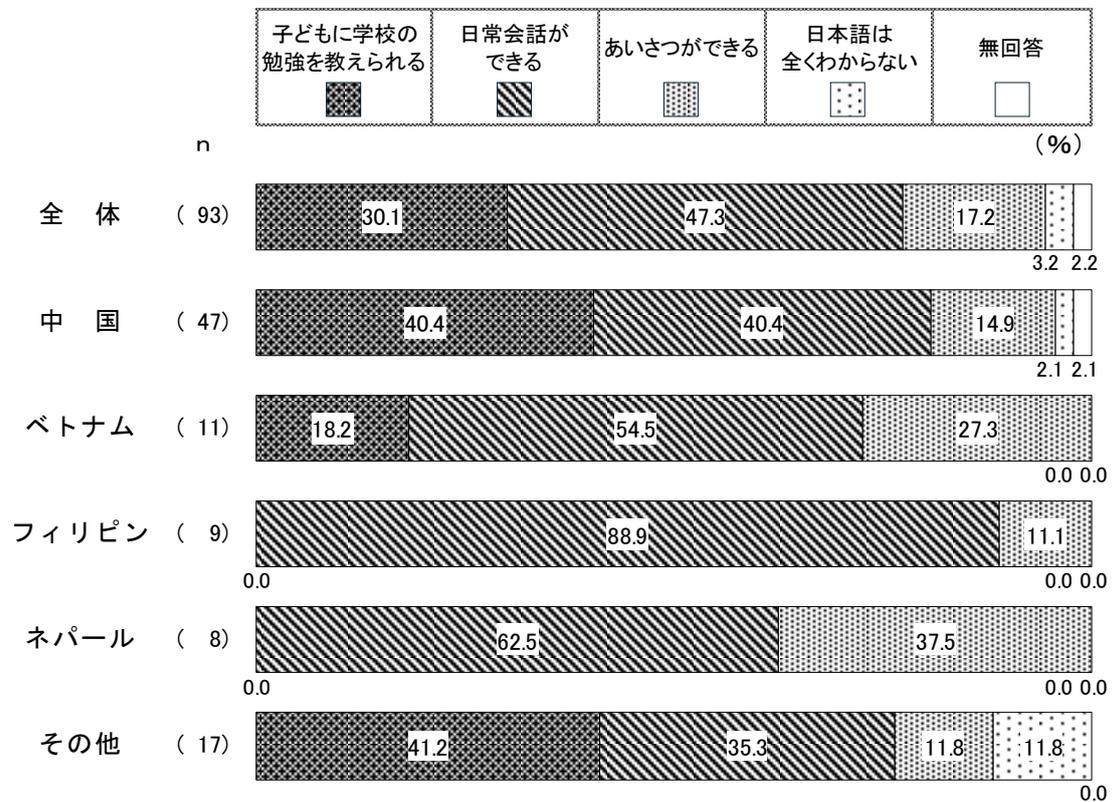
図表3-1



【国籍・地域別】

国籍・地域別は基数が少ないため参考に図示する。(図表 3-2)

図表 3-2



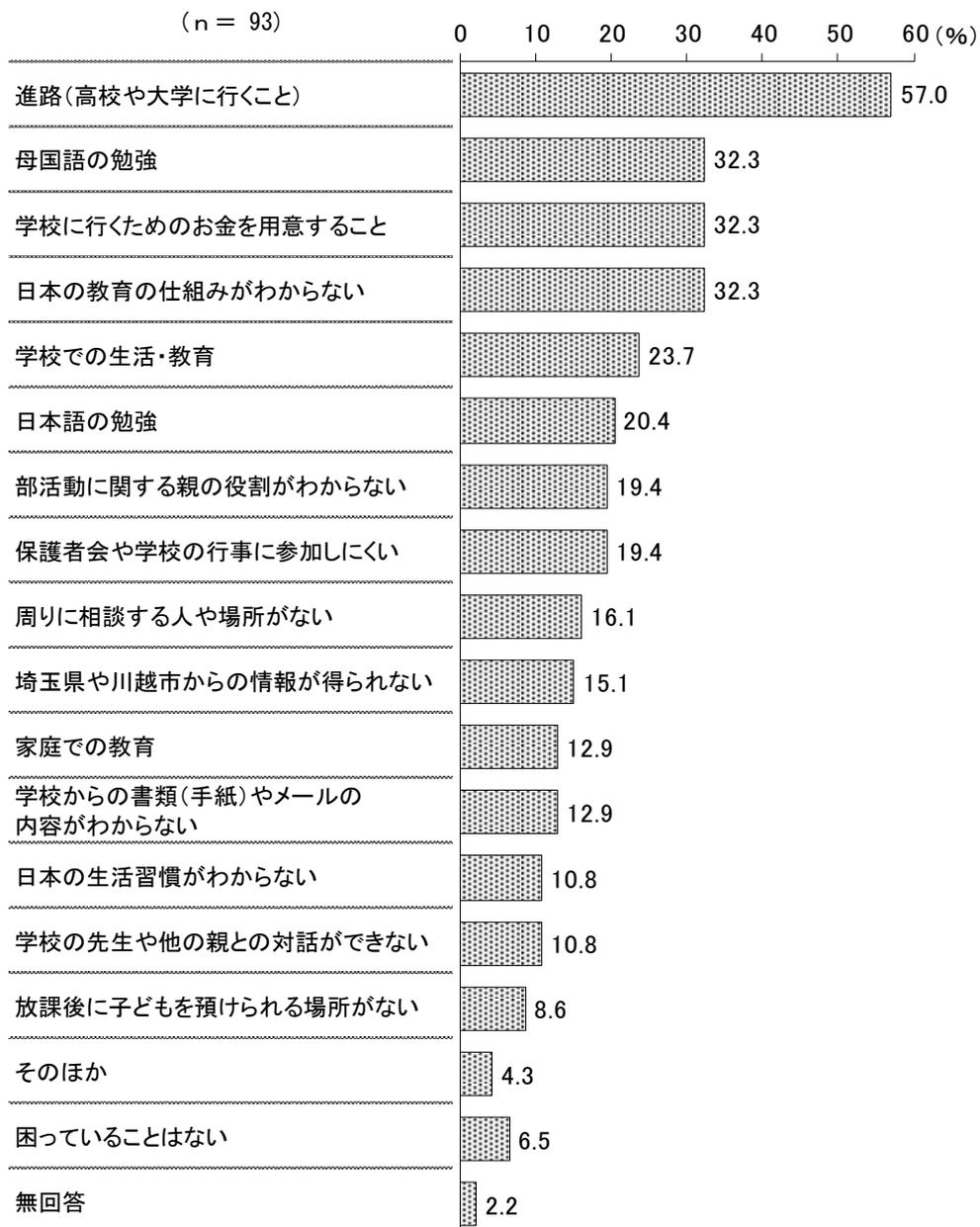
(4) 子どもの教育について困っていることや心配していること

Q4. あなたは、子どもの教育について困っていることや心配していることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

▶ ポイント 「進路（高校や大学に行くこと）」が6割近くと突出して高い

子どもの教育について困っていることや心配していることを聞いたところ、「進路（高校や大学に行くこと）」(57.0%) が6割近くで最も高く、次いで「母国語の勉強」、「学校に行くためのお金を用意すること」、「日本の教育の仕組みがわからない」（いずれも 32.3%）、「学校での生活・教育」(23.7%) などの順になっている。一方、「困っていることはない」(6.5%) は1割未満にとどまっている。(図表4-1)

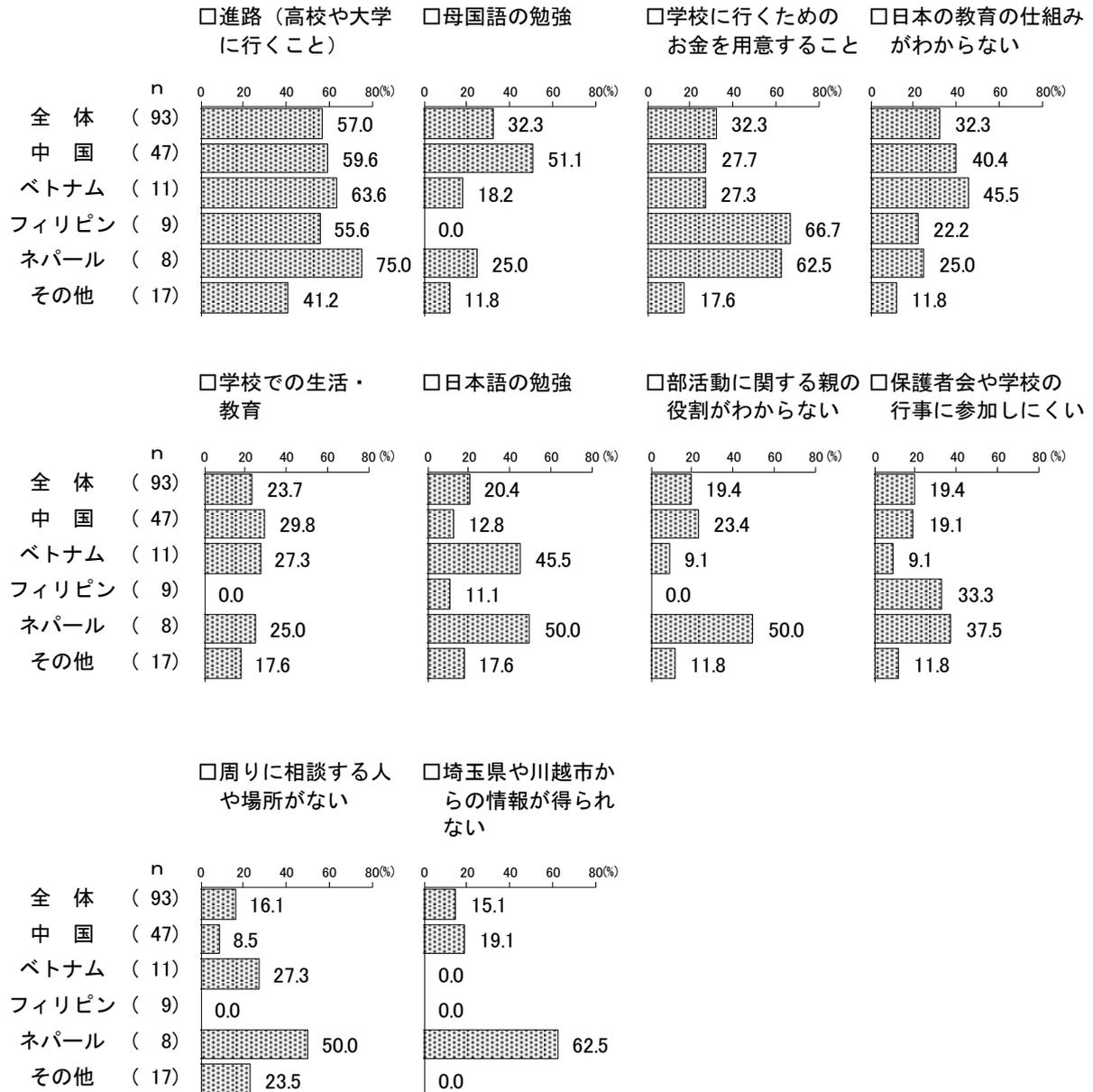
図表4-1



【国籍・地域別】

国籍・地域別は基数が少ないため参考に図示する。(図表 4-2)

図表 4-2 【上位 10 項目】



(5) 子どもの教育のことで困ったときの相談先

Q5. あなたは、子どもの教育のことで困ったとき、だれに相談しますか。

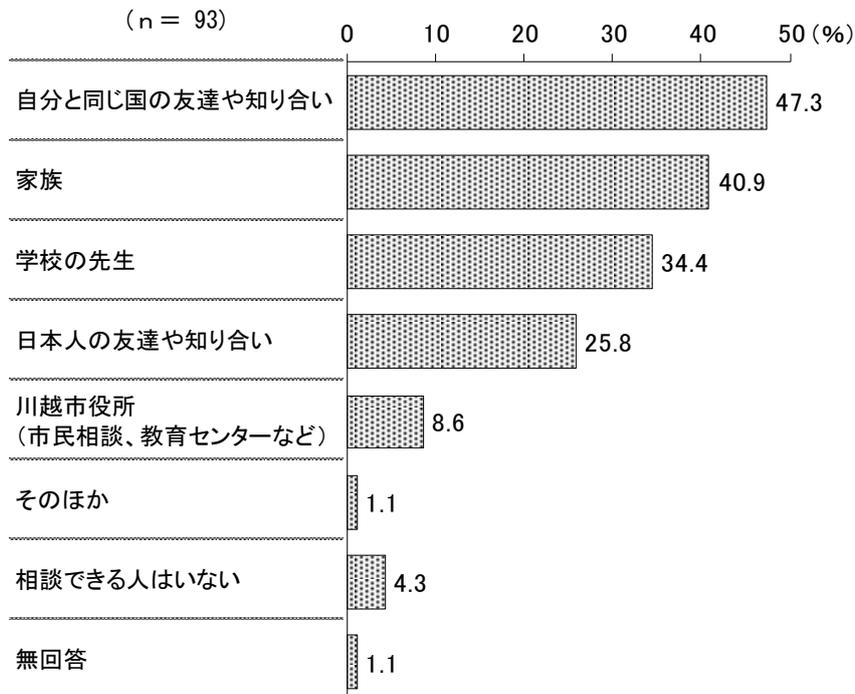
(あてはまるものすべてに○)

➤ ポイント 「自分と同じ国の友達や知り合い」が半数近くで最も高い

子どもの教育のことで困ったときの相談先について聞いたところ、「自分と同じ国の友達や知り合い」(47.3%)が5割近くで最も高く、次いで「家族」(40.9%)、「学校の先生」(34.4%)、「日本人の友達や知り合い」(25.8%)、「川越市役所(市民相談、教育センターなど)」(8.6%)などの順になっている。一方、「相談できる人はいない」はわずか4.3%となっている。

(図表5-1)

図表5-1



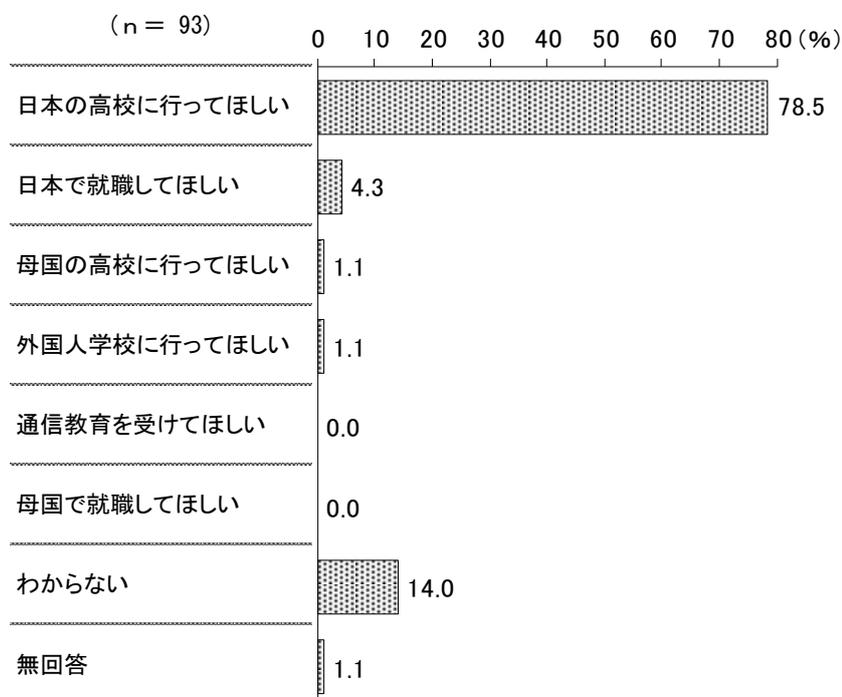
(6) 中学校卒業後の進路についての考え

Q6. あなたは、子どもが中学校を卒業したあとのことについて、どのように考えていますか。
(○は1つ)

➤ ポイント 「日本の高校に行ってほしい」が8割近くと突出して高い

中学校卒業後の進路についての考えを聞いたところ、「日本の高校に行ってほしい」(78.5%)が8割近くで最も高く、次いで「日本で就職してほしい」(4.3%)、「母国の高校に行ってほしい」、「外国人学校に行ってほしい」(ともに1.1%)などの順になっている。(図表6-1)

図表6-1



(7) 市の情報の入手手段

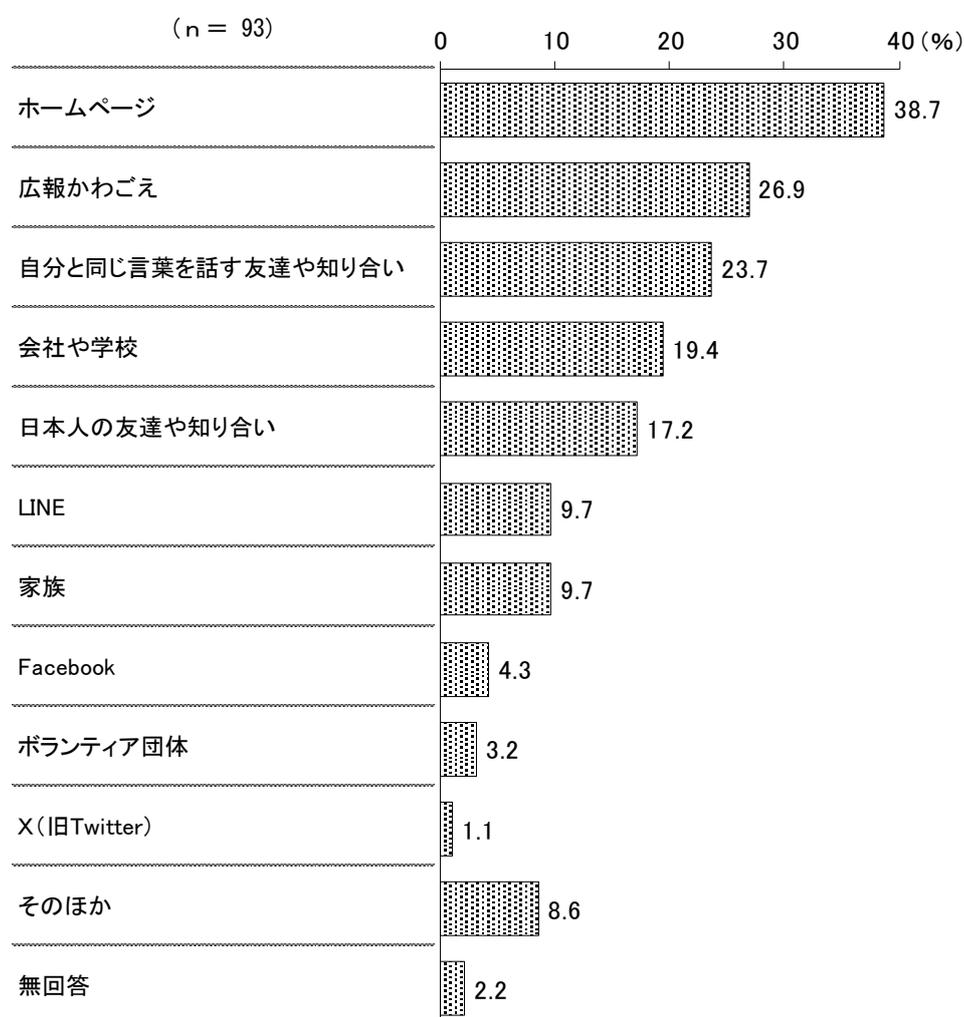
Q7. あなたは、川越市の情報をどのように知りますか。(あてはまるものすべてに○)

▶ ポイント 「ホームページ」が4割近くと最も高い

市の情報の入手手段について聞いたところ、「ホームページ」(38.7%)が4割近くで最も高く、次いで「広報かわごえ」(26.9%)、「自分と同じ言葉話す友達や知り合い」(23.7%)、「会社や学校」(19.4%)、「日本人の友達や知り合い」(17.2%)などの順になっている。

(図表7-1)

図表7-1



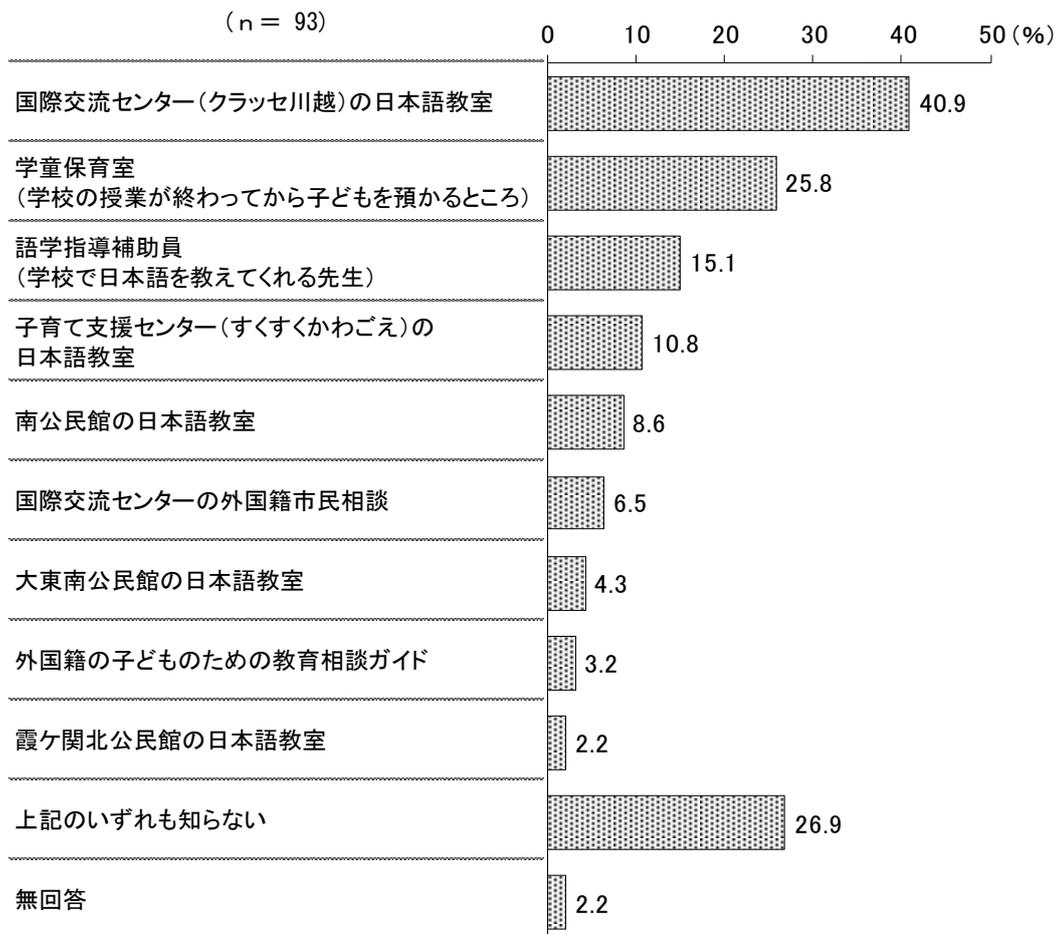
(8) 行政サービスの認知度

Q8. あなたが知っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

▶ ポイント 「国際交流センター(クラッセ川越)の日本語教室」が約4割と最も高い

行政サービスの認知度について聞いたところ、「国際交流センター(クラッセ川越)の日本語教室」(40.9%)が約4割で最も高く、次いで「学童保育室(学校の授業が終わってから子どもを預かる場所)」(25.8%)、「語学指導補助員(学校で日本語を教えてくれる先生)」(15.1%)、「子育て支援センター(すくすくかわごえ)の日本語教室」(10.8%)、「南公民館の日本語教室」(8.6%)などの順になっている。一方、「上記のいずれも知らない」(26.9%)は3割近くにのぼっている。(図表8-1)

図表8-1



(9) 地域に必要な場所

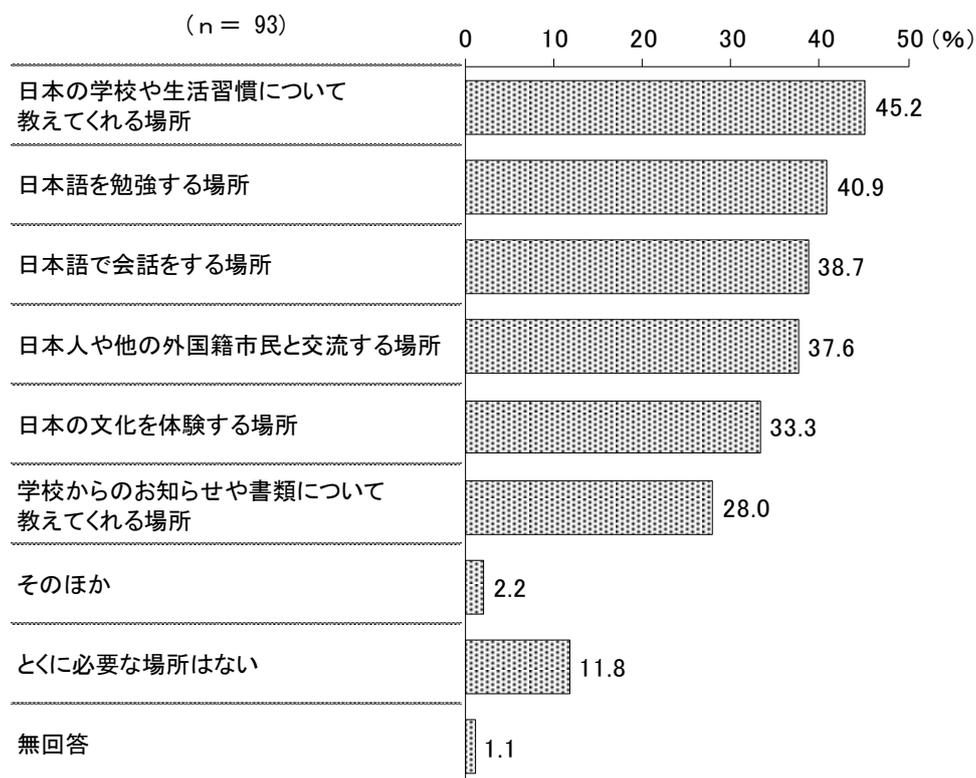
Q9. あなたは、地域にどのような場所があるとよいと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

➤ **ポイント** 「日本の学校や生活習慣について教えてくれる場所」が4割半ばと最も高い

地域に必要な場所について聞いたところ、「日本の学校や生活習慣について教えてくれる場所」(45.2%)が4割半ばで最も高く、次いで「日本語を勉強する場所」(40.9%)、「日本語で会話をする場所」(38.7%)、「日本人や他の外国籍市民と交流する場所」(37.6%)、「日本の文化を体験する場所」(33.3%)などの順になっている。一方、「とくに必要な場所はない」(11.8%)は1割程度にとどまっている。(図表9-1)

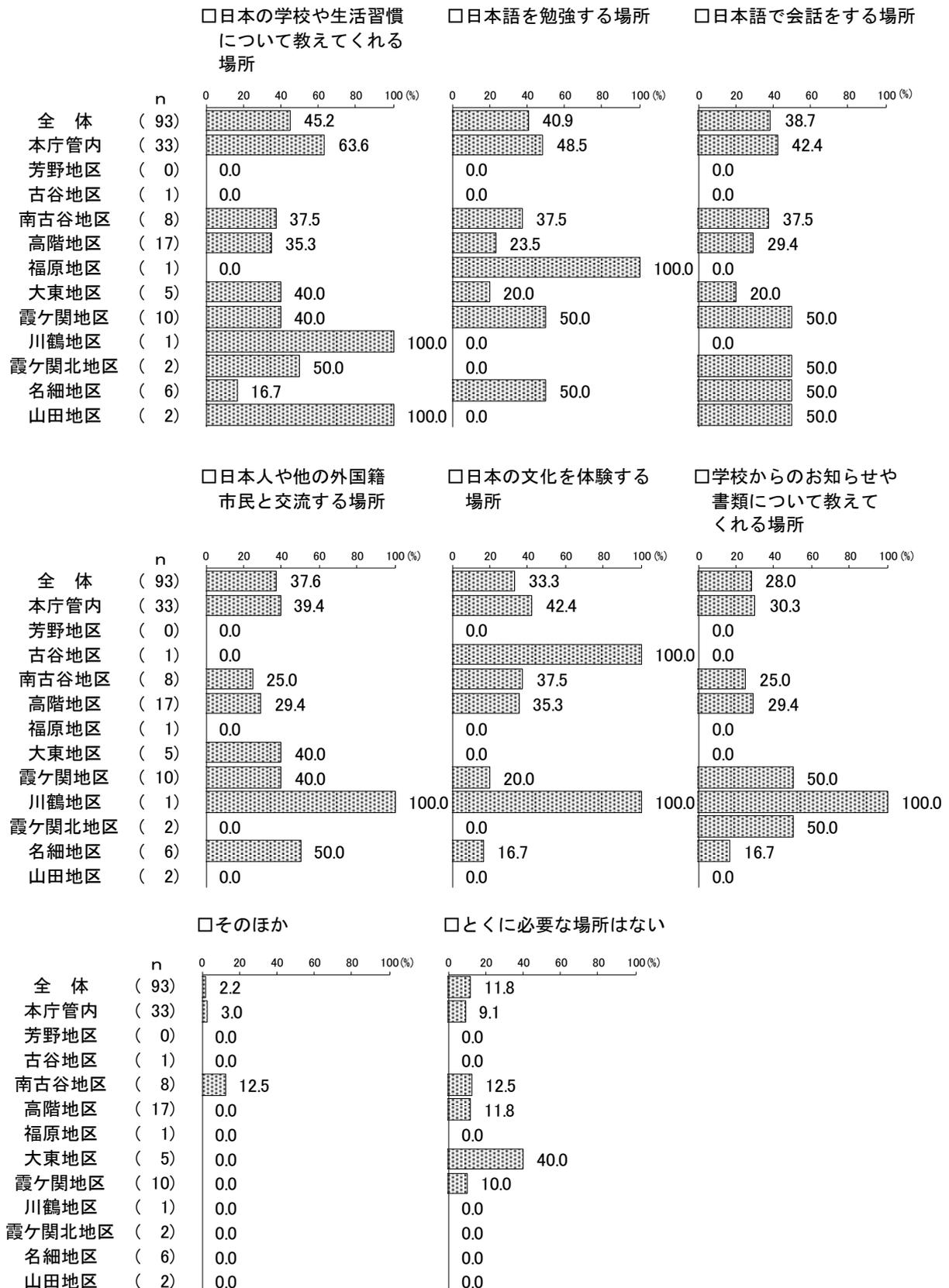
図表9-1



【居住地区別】

居住地区別は基数が少ないため参考に図示する。(図表 9-2)

図表 9-2



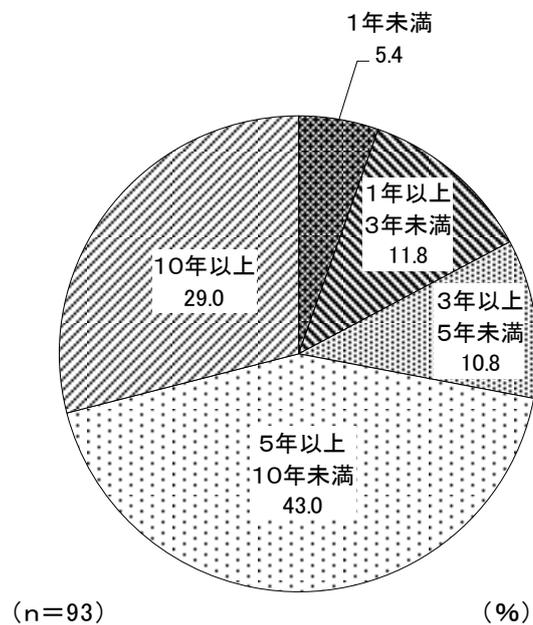
(10) 子どもの日本在住歴

Q10. あなたの子どもは、日本にどれくらい住んでいますか。(○は1つ)

➤ ポイント 「5年以上10年未満」が4割を超えて最も高い

子どもの日本在住歴について聞いたところ、「1年未満」(5.4%)、「1年以上3年未満」(11.8%)、「3年以上5年未満」(10.8%)はいずれも1割前後、「5年以上10年未満」(43.0%)は4割超、「10年以上」(29.0%)は約3割となっている。(図表10-1)

図表 10-1



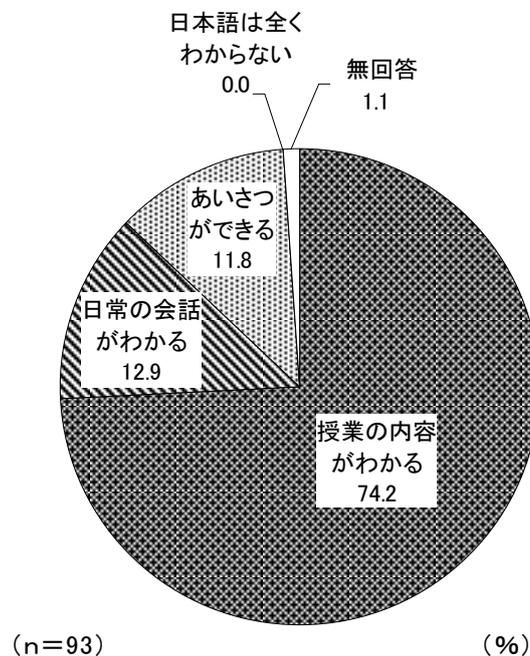
(11) 子どもの日本語能力

Q11. あなたの子どもは、どのくらい日本語ができますか。(○は1つ)

➤ ポイント 「授業の内容がわかる」が7割半ばを占める

子どもの日本語能力について聞いたところ、「授業の内容がわかる」(74.2%)が7割半ば、「日常の会話がわかる」(12.9%)、「あいさつができる」(11.8%)はともに1割を超えている。一方、子どもは「日本語は全くわからない」と回答した保護者はいなかった。(図表 11-1)

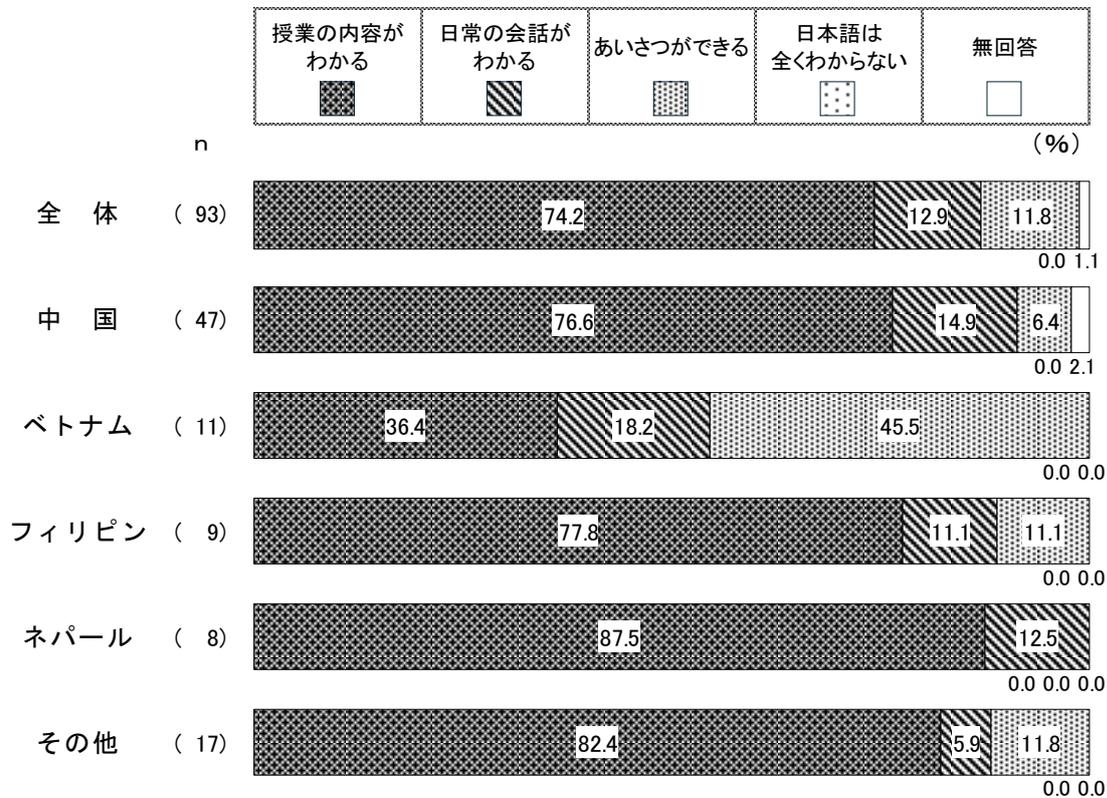
図表 11-1



【国籍・地域別】

国籍・地域別は基数が少ないため参考に図示する。(図表 11-2)

図表 11-2

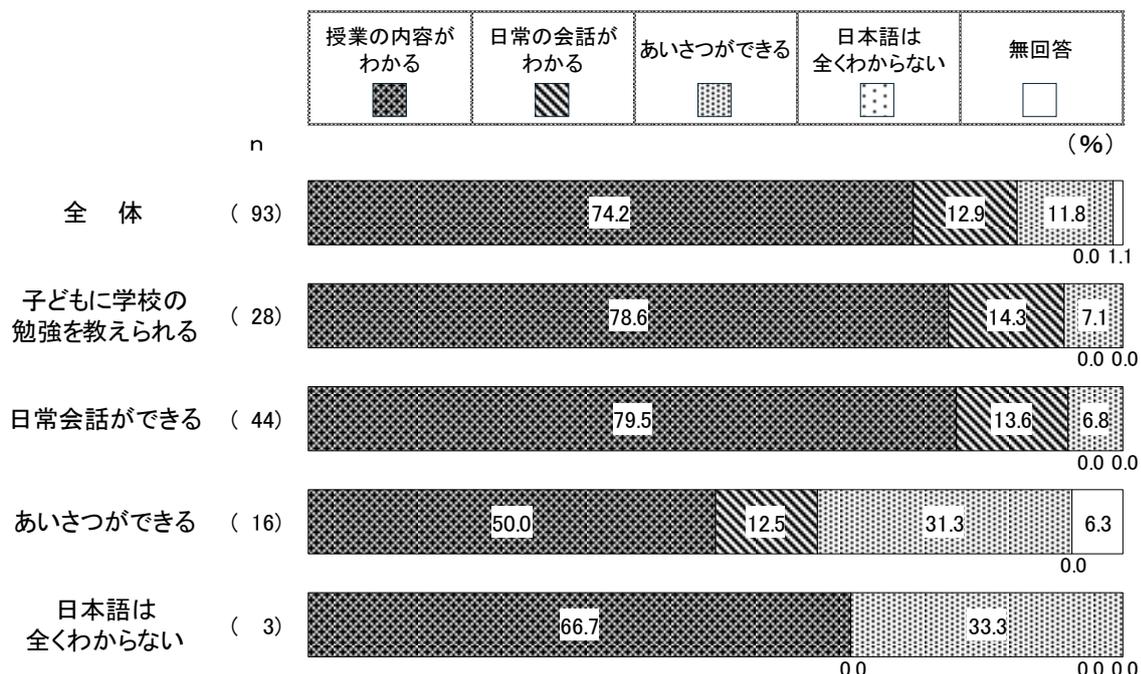


【保護者の日本語能力別】

保護者の日本語能力別は基数が少ないため参考値となるが、「授業の内容がわかる」は、「子どもに学校の勉強を教えられる」で8割近く、「日常会話ができる」で8割と高くなっている。

(図表 11-3)

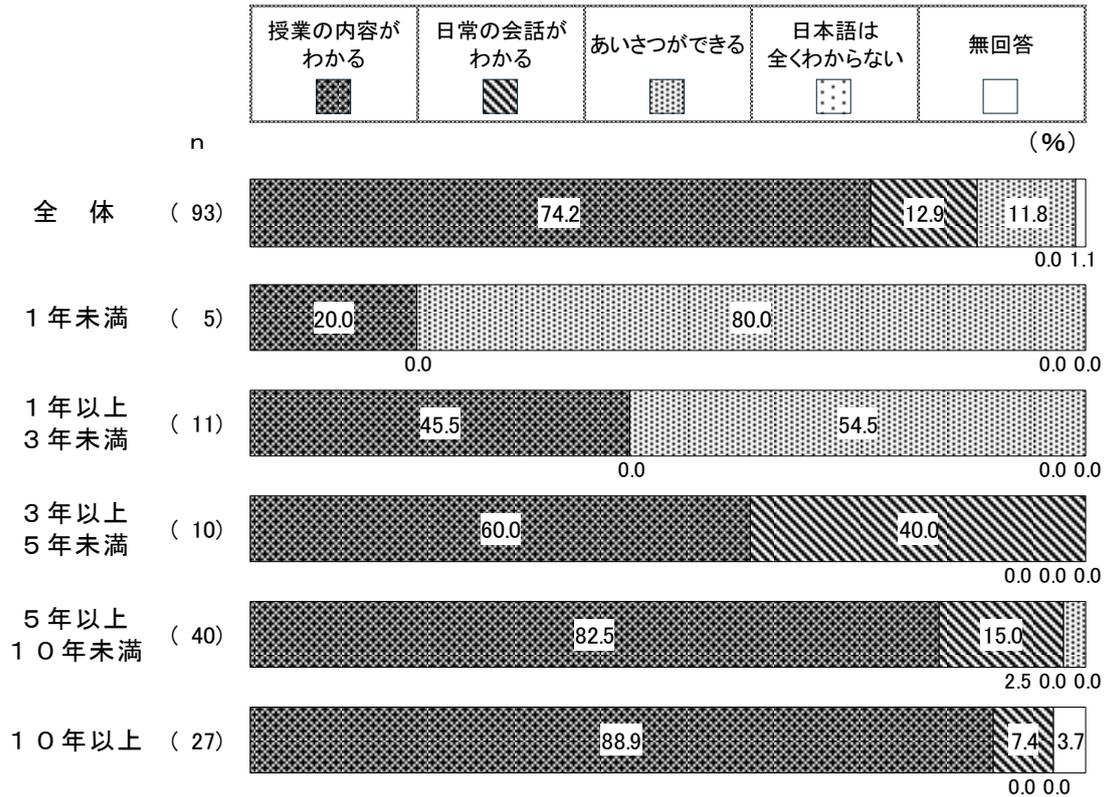
図表 11-3



【子どもの日本在住歴別】

子どもの日本在住歴別は基数が少ないため参考値となるが、「授業の内容がわかる」は、“10年以上”で9割近く、“5年以上10年未満”で8割を超え、子どもの日本在住歴が長くなるほど、子どもの日本語能力が高くなっている。(図表 11-4)

図表 11-4



(12) 子どもの日本語勉強方法

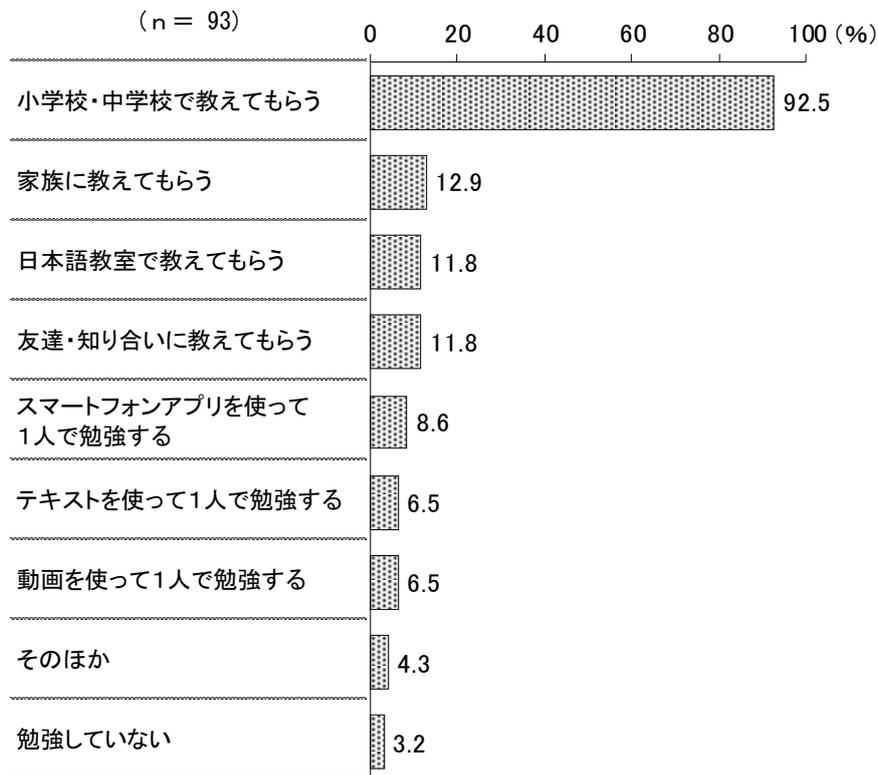
Q12. あなたの子どもは、現在、どのような方法で日本語を勉強していますか。

(あてはまるものすべてに○)

▶ **ポイント** 「小学校・中学校で教えてもらう」が9割を超え突出して高い

子どもの日本語勉強方法について聞いたところ、「小学校・中学校で教えてもらう」(92.5%)が9割を超えて最も高く、次いで「家族に教えてもらう」(12.9%)、「日本語教室で教えてもらう」、「友達・知り合いに教えてもらう」(ともに11.8%)、「スマートフォンアプリを使って1人で勉強する」(8.6%)などの順になっている。一方、「勉強していない」はわずか3.2%となっている。(図表12-1)

図表 12-1



(13) 子どもが学校以外の日本語教室に行ける曜日・時間

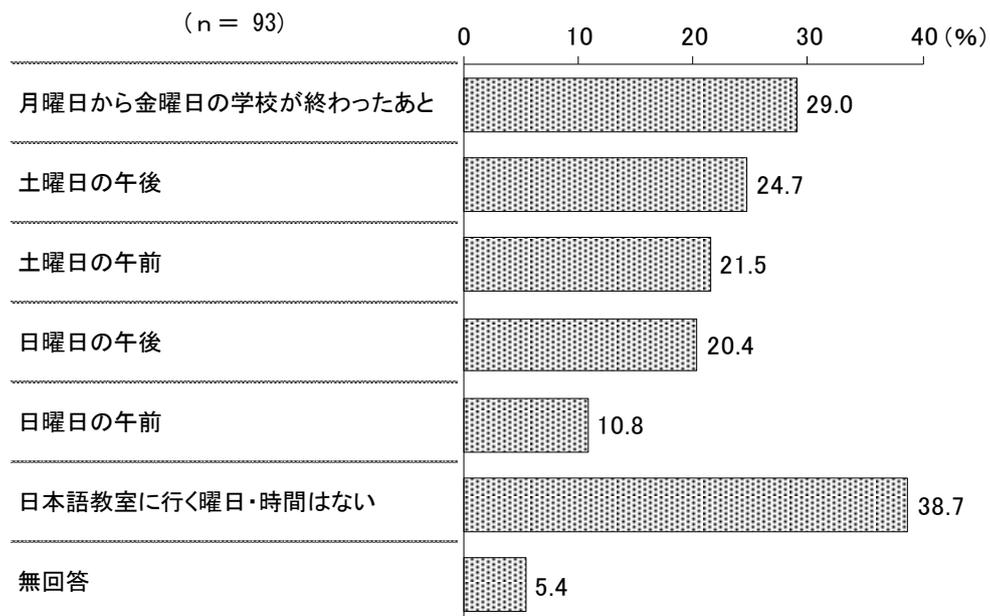
Q13. 子どもが学校のほかに日本語教室に行く場合、行くことができる曜日・時間はいつですか。(あてはまるものすべてに○)

➤ ポイント 「月曜日から金曜日の学校が終わったあと」が約3割と高い
「日本語教室に行く曜日・時間はない」は4割近くにのぼる

子どもが学校以外の日本語教室に行ける曜日・時間について聞いたところ、「月曜日から金曜日の学校が終わったあと」(29.0%)が約3割で高く、次いで「土曜日の午後」(24.7%)、「土曜日の午前」(21.5%)、「日曜日の午後」(20.4%)、「日曜日の午前」(10.8%)などの順になっている。一方、「日本語教室に行く曜日・時間はない」(38.7%)は4割近くにのぼっている。

(図表 13-1)

図表 13-1



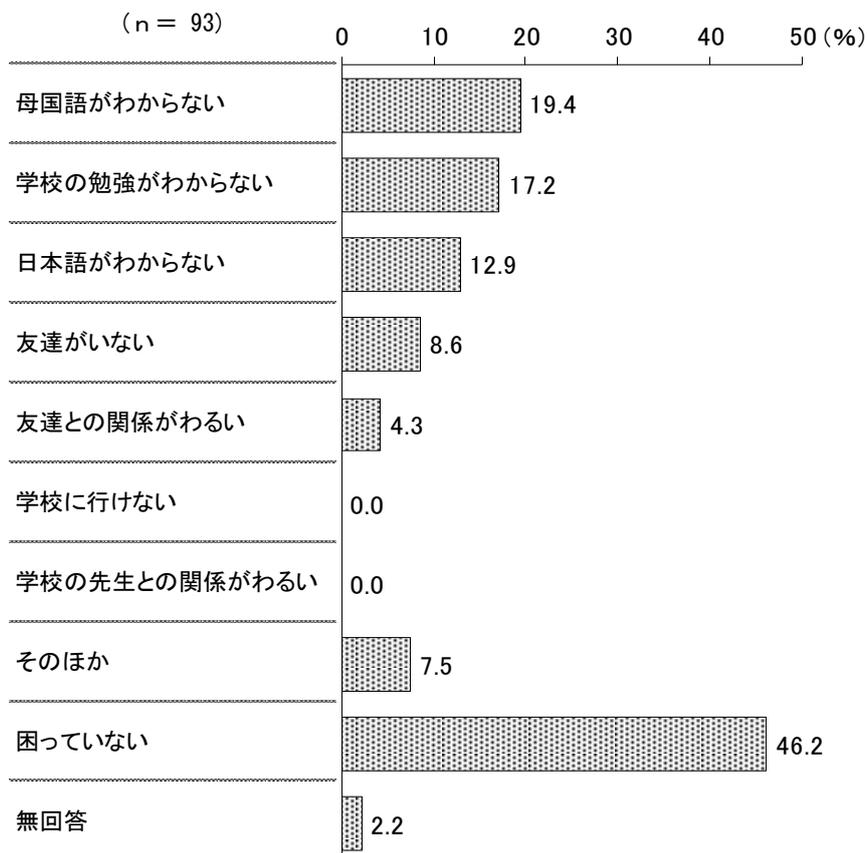
(14) 子どもが困っていること

Q14. あなたの子どもが困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

➤ **ポイント** 「母国語がわからない」が約2割と高い
「困っていない」は4割半ばを占める

子どもが困っていることについて聞いたところ、「母国語がわからない」(19.4%)が約2割で高く、次いで「学校の勉強がわからない」(17.2%)、「日本語がわからない」(12.9%)、「友達がいない」(8.6%)、「友達との関係がわるい」(4.3%)などの順になっている。一方、「困っていない」(46.2%)は4割半ばを占めている。(図表14-1)

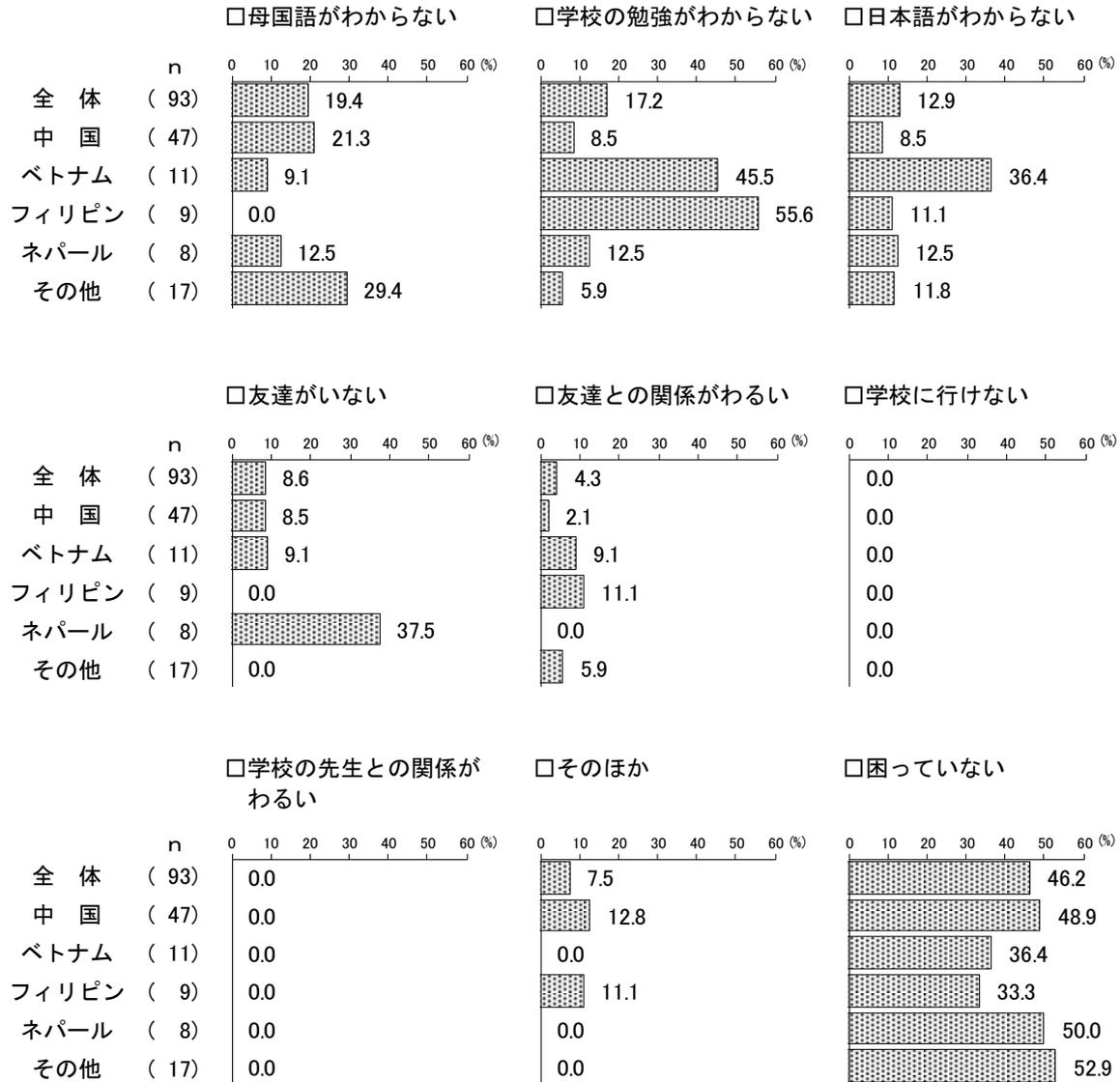
図表 14-1



【国籍・地域別】

国籍・地域別は基数が少ないため参考に図示する。(図表 14-2)

図表 14-2



(15) 子どもにとって必要な場所

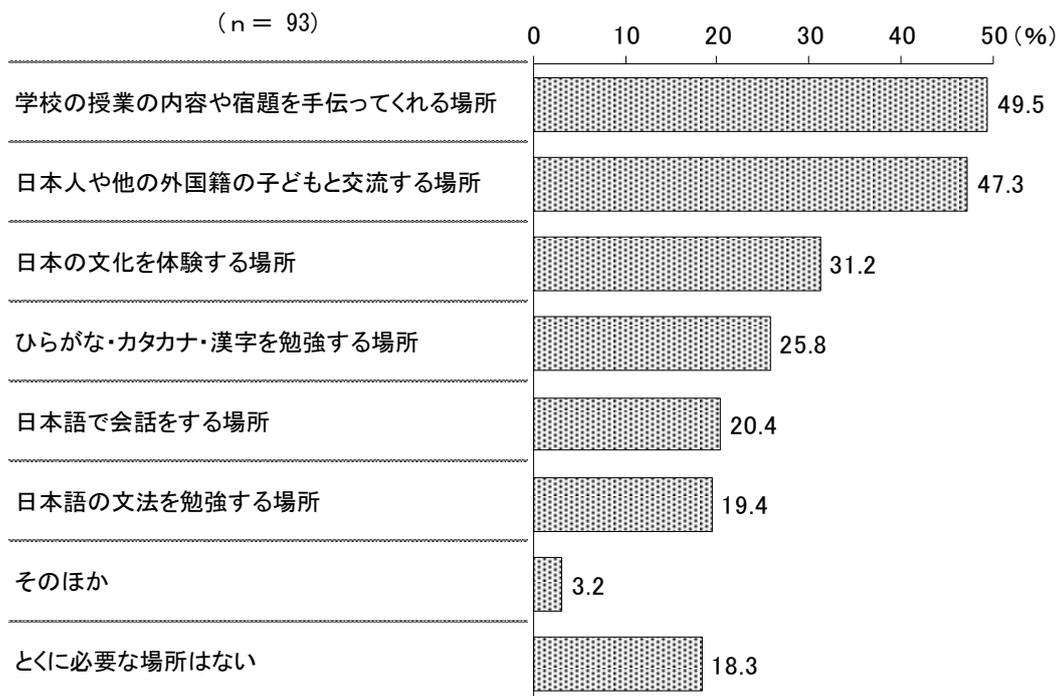
Q15. 子どもにとって家の近くにどのような場所があるとよいと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

➤ **ポイント** 「学校の授業の内容や宿題を手伝ってくれる場所」と「日本人や他の外国籍の子どもと交流する場所」が5割程度と高い

子どもにとって必要な場所について聞いたところ、「学校の授業の内容や宿題を手伝ってくれる場所」(49.5%)が5割で最も高く、次いで「日本人や他の外国籍の子どもと交流する場所」(47.3%)、「日本の文化を体験する場所」(31.2%)、「ひらがな・カタカナ・漢字を勉強する場所」(25.8%)、「日本語で会話をする場所」(20.4%)などの順になっている。一方、「とくに必要な場所はない」(18.3%)は2割近くとなっている。(図表 15-1)

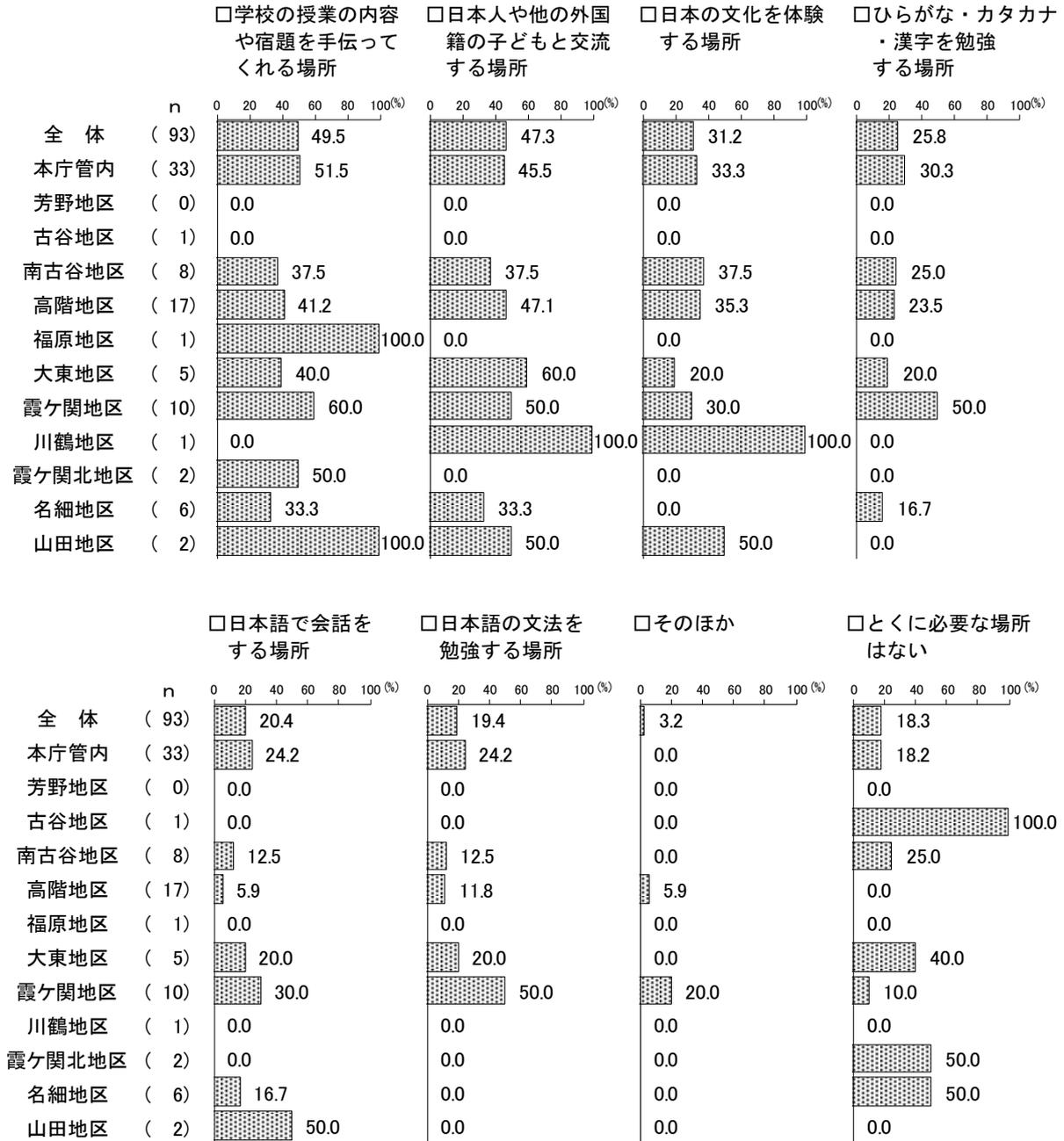
図表 15-1



【居住地区別】

居住地区別は基数が少ないため参考に図示する。(図表 15-2)

図表 15-2



【資料】 調査票

川越市に住む外国籍の子どもを持つ親への調査

このアンケートは、川越市が送りました。

あなたの意見を聞いて、あなたの住んでいる川越市が、外国籍のみなさんにとって暮らしやすいまちになるように計画を作ります。この調査に答えて、あなたが日ごろ感じること・考えていることを教えてください。よろしくお願ひします。

2024年9月

川越市長 川合 善明

答えるときのお願ひ

- このアンケートは、出入国管理とは関係ありません。
- あなたが答えたことは、他の人にはわかりません。
- 答える人は、封筒に書いてある名前の人です。
- 答えるときは、数字に○を書いてください。
＜例＞ ① 本庁管内 2. 芳野地区 3. 古谷地区
- 日本語とその他の言語の2種類を送りました。1つだけ選んで答えてください。
- 答えたあとは、このアンケートと一緒に入っていた封筒に入れて、郵便ポストに入れてください。切手は要りません。10月7日(月)までに送ってください。

問ひ合わせ

川越市 国際文化交流課

電話：049-224-5506 FAX：049-224-8712

受付時間：月曜日～金曜日（祝日を除く）

午前8時30分～12時／午後1時～5時15分

【あなたについて】

Q1 あなたが住んでいる地区はどこですか。(〇は1つ)

- | | | | |
|-------------------------------------|---|-----------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 本庁管内
<small>ほんちやうかんない</small> | 2. 芳野地区
<small>よしのちく</small> | 3. ふるやちく
<small>ふるやちく</small> | 4. 南古谷地区
<small>みなみふるやちく</small> |
| 5. 高階地区
<small>たかしなちく</small> | 6. 福原地区
<small>ふくはらちく</small> | 7. 大東地区
<small>だいてうちく</small> | 8. 霞ヶ関地区
<small>かすみがせきちく</small> |
| 9. 川鶴地区
<small>かわつるちく</small> | 10. 霞ヶ関北地区
<small>かすみがせききたちく</small> | 11. 名細地区
<small>なぐわしちく</small> | 12. 山田地区
<small>やまだちく</small> |
13. わからない

Q2 あなたの国籍・地域はどこですか。(〇は1つ)

- | | | | |
|--------------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|
| 1. 日本
<small>にほん</small> | 2. 中国
<small>ちゆうごく</small> | 3. ベトナム
<small>べとなむ</small> | 4. ネパール
<small>ねばーる</small> |
| 5. フィリピン
<small>ふいりびん</small> | 6. 韓国・朝鮮
<small>かんこく ちやうせん</small> | 7. ペルー
<small>ぺるー</small> | 8. パキスタン
<small>ぱきすたん</small> |
| 9. バングラデシュ
<small>ばんぐらでしゅ</small> | 10. ブラジル
<small>ぶらじる</small> | 11. ミャンマー
<small>みゃんまー</small> | 12. そのほか |

Q3 あなたは、どのくらい日本語ができますか。(〇は1つ)

- | | |
|---|---|
| 1. 子どもに学校の勉強を教えられる
<small>こどもに がっこう べんきやう おし</small> | 2. 日常会話ができる
<small>にちじやうかいわ</small> |
| 3. あいさつができる | 4. 日本語は全くわからない
<small>にほんご まった</small> |

Q4 あなたは、子どもの教育について困っていることや心配していることはありますか。(あてはまるものすべてに〇)

- | | |
|---|--|
| 1. 進路(高校や大学に行くこと)
<small>しんろ こうこう だいがく い</small> | 2. 日本語の勉強
<small>にほんご べんきやう</small> |
| 3. 母国語の勉強
<small>ぼこくご べんきやう</small> | 4. 学校での生活・教育
<small>がっこう せいかつ きやういく</small> |
| 5. 学校に行くためのお金を用意すること
<small>がっこう い かね しようい</small> | 6. 家庭での教育
<small>かてい きやういく</small> |
| 7. 日本の教育の仕組みがわからない
<small>にほん きやういく しく</small> | 8. 周りに相談する人や場所がない
<small>まわ そうだん ひと ばしょ</small> |
| 9. 日本の生活習慣がわからない
<small>にほん せいかつしやうかん</small> | |

10. 学校の先生や他の親との対話ができない
11. 埼玉県や川越市からの情報が得られない
12. 放課後に子どもを預けられる場所がない
13. 部活動に関する親の役割がわからない
14. 学校からの書類（手紙）やメールの内容がわからない
15. 保護者会や学校の行事に参加しにくい
16. そのほか
17. 困っていることはない

Q5 あなたは、子どもの教育のことで困ったとき、だれに相談しますか。

（あてはまるものすべてに○）

1. 家族
2. 自分と同じ国の友達や知り合い
3. 学校の先生
4. 日本人の友達や知り合い
5. 川越市役所（市民相談、教育センターなど）
6. そのほか
7. 相談できる人はいない

Q6 あなたは、子どもが中学校を卒業したあとのことについて、どのように考えて

いますか。（○は1つ）

1. 日本の高校に行ってほしい
2. 母国の高校に行ってほしい
3. 外国人学校に行ってほしい
4. 通信教育を受けてほしい
5. 日本で就職してほしい
6. 母国で就職してほしい
7. わからない

Q7 あなたは、川越市の情報をどのように知りますか。(あてはまるものすべてに○)

1. ホームページ
2. 広報かわごえ
3. X (旧 Twitter)
4. Facebook
5. LINE
6. 家族
7. 日本人の友達や知り合い
8. 自分と同じ言葉話す友達や知り合い
9. 会社や学校
10. ボランティア団体
11. そのほか

Q8 あなたが知っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 国際交流センター(クラッセ川越)の日本語教室
2. 子育て支援センター(すくすくかわごえ)の日本語教室
3. 南公民館の日本語教室
4. 大東南公民館の日本語教室
5. 霞ヶ関北公民館の日本語教室
6. 国際交流センターの外国籍市民相談
7. 外国籍の子どものための教育相談ガイド
8. 学童保育室(学校の授業が終わってから子どもを預かるところ)
9. 語学指導補助員(学校で日本語を教えてくれる先生)
10. 上記のいずれも知らない

Q9 あなたは、地域にどのような場所があるとよいと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 日本語を勉強する場所
2. 日本語で会話をする場所
3. 日本の学校や生活習慣について教えてくれる場所
4. 学校からのお知らせや書類について教えてくれる場所
5. 日本の文化を体験する場所
6. 日本人や他の外国籍市民と交流する場所
7. そのほか
8. とくに必要な場所はない

【子どもについて】（子どもが2人以上いる場合は、15歳までの子どものうち最も年齢が高い子どもについて教えてください。）

Q10 あなたの子どもは、日本にどれくらい住んでいますか。（○は1つ）

1. 1年未満
2. 1年以上3年未満
3. 3年以上5年未満
4. 5年以上10年未満
5. 10年以上

Q11 あなたの子どもは、どのくらい日本語ができますか。（○は1つ）

1. 授業の内容がわかる
2. 日常の会話がわかる
3. あいさつができる
4. 日本語は全くわからない

Q12 あなたの子どもは、現在、どのような方法で日本語を勉強していますか。

（あてはまるものすべてに○）

1. 小学校・中学校で教えてもらう
2. 日本語教室で教えてもらう
3. 家族に教えてもらう
4. 友達・知り合いに教えてもらう
5. テキストを使って1人で勉強する
6. スマートフォンアプリを使って1人で勉強する
7. 動画を使って1人で勉強する
8. そのほか
9. 勉強していない

Q13 子どもが学校のほかに日本語教室に行く場合、行くことができる曜日・時間は

つですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 月曜日から金曜日の学校が終わったあと
2. 土曜日の午前
3. 土曜日の午後
4. 日曜日の午前
5. 日曜日の午後
6. 日本語教室に行く曜日・時間はない

Q14 あなたの子どもが困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 学校に行けない
2. 学校の勉強がわからない
3. 日本語がわからない
4. 母国語がわからない
5. 友達がいない
6. 友達との関係がわるい
7. 学校の先生との関係がわるい
8. そのほか
9. 困っていない

Q15 子どもにとって家の近くにどのような場所があるとよいと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. ひらがな・カタカナ・漢字を勉強する場所
2. 日本語の文法を勉強する場所
3. 学校の授業の内容や宿題を手伝ってくれる場所
4. 日本語で会話をする場所
5. 日本の文化を体験する場所
6. 日本人や他の外国籍の子どもと交流する場所
7. そのほか
8. とくに必要な場所はない

**川越市外国にルーツを持つ児童・生徒保護者の意識調査
報告書**

令和7（2025）年1月

発行 川越市 国際文化交流課
〒350-8601 埼玉県川越市元町1丁目3番地1
電話 049-224-8811（代表）

この調査は、一般財団法人自治体国際化協会から助成を受けて実施しました。



一般財団法人
自治体国際化協会